

令和5年度 今治市社協グループホームゆいの里 外部評価結果（公表用）

項 目	内 容
自 己 評 価 実 施 日	4～5月中
外 部 評 価 日	令和 5年 8月25日(金曜日) 13:30～
実 施 方 法	運営推進会議 「自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール」
外 部 評 価 者	今治市民生児童委員協議会会長、民生児童委員、地域住民代表、今治市役所大三島支所担当者、大三島支部運営委員長、伯方地域包括支援センター大三島サブセンター担当者、今治市社協大三島支部支部長、グループホームゆいの家管理者、小規模多機能ゆいの村管理者等 <div style="text-align: right;">計13名</div>
開 示 状 況	利用者及びその家族へ送付 今治市へ提出 今治市社協ホームページ・事業所内へ掲示

令和5年度 グループホームゆいの里 (自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール)

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・玄関から入って直ぐ見える所に大きく貼り出し、出勤時やいつでも確認できる様にしています。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている ○ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・例年、地域合同の避難訓練や夏祭り、ふれあいフェスタ等、地域の方々を招いて行う行事もあるが、まだ新型コロナの影響で十分に実践できていません。	<ul style="list-style-type: none"> ・無理しなくて良いと思います。 ・コロナがあるので、交流する時期は慎重に考えて、対策方法をした方が良いでしょう。 ・同じ支部内の事業所で評価が違うものがありますが、施設間の情報交換、情報共有をやってはどうでしょうか？施設ごとに施設のしつらえや利用者が違い、働く職員も違うので、全く一緒と言う事は出来なくても、それぞれの取組で良い所は取り入れて、改善したり、問題の解決にしても、他の施設の職員の知恵や発想で解決できる事があつたりするのではないのでしょうか。少なくとも、各事業所の管理者の評価項目への認識は統一されるべきかと思います(※全項目共通) → 事業所自己評価については、ゆいの家・ゆいの里でかわっている職員の個々の評価を、それぞれの事業所評価としてまとめたものになります。当然、事業毎に話し合うそれぞれの同じ項目について、職員の自己評価のとらえ方や、取り組み方についても、異なってきます。最終的なサービスの方向性は方法については、各事業所相違はありませんが、利用者さん一人一人のサービス提供に関し、同じサービス内容での提供が難しく、そのサービス内容に対する評価としては、利用者さんの違いによって、差が出てくるのだと思います。記述欄は、各管理者が項目について意見交換を行っていない為、内容に違いが出てくるのだと思います。 ・5類に移行したものの、以前の様な交流は難しいかと思えます。お花見やお大師さんへの参加など、地域に出向く事で、地域とつながっていければと考えます。 ・いくら5類になったからと言っても、コロナはコロナ。祭りなど復活している所もあるが、まだ暫くは辛抱の時だと思ふ。地域に出向いて行けない事は、本当につらいと思ふ。 ・コロナの現状から、今後も困難が予測される。 		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・2ヶ月に1回開催される運営推進会議で状況報告を行ったり、今回の様に一昨年度から外部評価等も行い、意見交換を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> ・良い(出来ている)と思います。 ・運営推進会議に出席させて頂いて、ヒヤリハット等の報告を聞いていると、利用者さんの安全第一という目的意識・問題意識が徹底されており、大変素晴らしいと思います。 ・運営推進会議時には、丁寧な説明があります。 ・運営推進会議の折、ヒヤリハットの報告を読み、職員は日々常に緊張の中にいる事に頭が下がります。 		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・2ヶ月に1回開催される運営推進会議や、認定調査の時に、近況や事業所の事等を相談したり、必要時には支所へ訪れ報告などとしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・良い(出来ている)と思います。 ・運営推進会議や他の業務(介護認定や巡回相談)等の機会をとらえ、連携に努めています。 		

5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・毎年1回、身体拘束防止に関する研修を受け、ミーティング等で伝達研修を行い、スタッフ全員が身体拘束ゼロに向けた取り組みについて周知徹底を行っています。運営推進会議でも毎回身体拘束適正化委員会を開催し、報告・検討を行っています。		A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修受講やスタッフ間で、復命する等の取組を運営推進会議で報告を受けています。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	○ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・今年度から毎年最低1回は、虐待防止に関する研修を開催。外部の研修にも参加し、他スタッフに研修内容を伝えています。自分が行った介護や言葉掛けが虐待に当たらないかどうか、スタッフ同士で気を付け、気付いた時には注意し合うようにしています。		○ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・現在、成年後見制度を利用している利用者さんがおり、必要性や役割について、職員間で学ぶ機会を設けています。また、研修などへも積極的に参加し、内容をミーティング等でスタッフみんなに伝えています。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・随時、契約書に沿って契約内容の説明を行っています。途中、分かりにくかったところや理解できない部分が無いか確認しながら、不明点が無いかどうかを確認した後に、署名頂いています。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・毎年、利用者・家族に対しアンケート調査を実施しています。コロナ禍でなかなか施設内の状況の説明が難しく、毎月お便りで確認頂きながら、時々電話で近況報告したり、特に不安なところや聞きたい事は無いかなど、家族に確認しています。		A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アンケートをとる事で、広く意見を聞き取れるよう配慮されています。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・毎日の申し送り時や適宜、また毎月のミーティング等で、収支や運営に関する情報を伝え、意見をスタッフから確認しながら、働きやすい職場を目指し、検討しています。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職場で直接給与や処遇などを改善する事は難しいと思いますが、労働時間ややりがい、向上心等を持って、意欲的に働く事が出来るように、職場環境や勤務時間等を希望に沿って調整する等、働きやすい職場の環境作りを行っています。		A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	働きやすい職場の環境整備はとても大切な事だと思います。

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・興味のある研修への参加や、参加した研修をスタッフみんなに伝える事で、知り得た知識や技術を共有し、一人一人が、広く深い知識や技術を習得できるようにしています。		A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修に参加後、他の職員に伝達し、共有されています。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている ○ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・コロナ禍で、他事業所との直接的な交流は難しいですが、電話等で現状を確認したり、色々な情報交換や対策・対応などを確認しながら、事業所間でも情報の共有は出来ています。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・掃除や調理等、家事を一緒にこなしたり、日常会話の中で、一緒に笑ったり相談しながら外出や行事等の計画を立てたり、暮らしを共にする家族の様に、お互いの意見を確認しながら、共に生活しています。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・面会には色々と規制はありますが、中止はしておらず、クリアシートや窓ガラス越しに 15 分以内で面会して頂いたり、感染予防には引き続き考慮し、対応して頂いています。	・入所してから、長くなると馴染みも変化があると思いますが、その辺はどうなっているのでしょうか？ ⇒確かに、馴染みの関係性もその人それぞれで、主に日常会話などで、馴染みの関係性を確認したり、直接訴えがあった事に対して、人や物、地域等の馴染みの環境を引き出し、関りが途絶えない様にしています。 ・コロナが終息したわけではありませんが、対策をとりながら、出来るだけ面会は続けて欲しいです。 ・感染対策を今後も継続する必要があるため、面会には今の対応が良いと思います。 ・久しぶりの施設訪問。馴染みの方に何人かお会いし、元気そうで、穏やかな表情に感動しました。大事にされているなと嬉しく思いました。 ・コロナの現状から、今後も困難が予感される。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者さんと、話をする時間も多く作り、その中から生活に対する思いや希望を確認し、少しでも希望に沿った行事や食事、将来的な本人の望む生活等について、確認できる時間を作り、把握に努めています。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ケアプランに基づいた、利用者さん一人一人の長期・短期目標を定め、目標達成に向けた具体的なケア内容を毎日実施・評価しながら、毎月の評価を元にミーティングでモニタリングしながら、ケア内容の見直しも行っています。	・工夫されている(出来ている)と思います ・きめ細かな対応がされている。	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的にモニタリングを行い、対応されています。

18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・毎日、提供したケア内容に対する記録・評価を行いながら、毎月のミーティングで総合的にケア内容に対する評価を行い、今後の具体的なケア内容の修正や調整を行っています。		A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・家族とも電話やメール・LINE等で連絡を取り合い、現在の日々の様子を伝えたり、毎月ケア内容に対する評価や一ヶ月の様子等のコメントを、個別にお便りと一緒に配布しています。	・工夫されている(出来ている)と思います。 ・利用者各々のニーズに対する事は、本当に大変です。永年それぞれのスタイルで生きてきて、家族とも離れ、気ままが出て不思議ではない。事業所の柔軟な姿勢に感謝です。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・コロナ禍で、率先して地域行事への参加やかかわりを自粛していましたが、行き慣れた神社への初詣、住み慣れた地域をドライブしたり、馴染みの環境を少しでも感じて頂けるようにしています。	・良いと(出来ている)と思います。 ・地域資源とは？ ⇒介護サービスや公的サービス以外に、住んでいる地域に存在する自然・人的・物的な資源や能力の事で、主に地域のサロン活動、民生児童委員さん、近隣の住民や各ボランティアさんなどの人的資源や、海と山の自然に囲まれた豊かな地域等、その人を取り巻く周りの環境や時に文化的な資源なども含まれます。 ・コロナの現状から、今後も取り組みは制限を受けると思います。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・基本的に慣れ親しんだかかりつけ医に、継続して受診頂いています。家族が通院介助が難しい場合には、関係性を断たない様に、施設職員と一緒に通院介助し、医師とも連携を取っています。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入院の必要性があれば、主治医を含め、入院先医療機関や本人を含め家族との連絡はもちろん、退院までのフォローも含め、関係機関と連携し、スムーズに退院でき、退院後も健康状態について相談しながら、安心して過ごして頂けるよう対応しています。		A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・常に、本人と家族の希望を確認しながら、出来るだけ意向に沿えるよう、スタッフ全員で意見やケア内容を統一し、「思い」に寄り添いながら対応しています。		A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・定期的に、緊急時の対応の仕方について、内・外部研修やミーティング時に、看護師が起こりうる急変に備えた対策について、随時職員間で話し合い、いざと言う時に迅速に、的確に対応できるようにしています。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	<p>・年に2回、消火避難訓練を実施。地震や豪雨等の自然災害の対応についてもマニュアル化し、随時訓練を行っています。</p> <p>・良い(出来ている)と思います。 ・避難訓練は継続して行ってください。 ・避難場所は決まりましたか？ ⇒中でも地震などによる津波・台風等の高潮に対し、浸水の恐れがある為、避難誘導が必要との事で、今の所、クルツラントウレーベン駐車場へ避難する事に統一したいと思います。 ・定期的な訓練は大切だと思います。 ・食事中、入浴中、トイレ中、何時起こるとも分からない災害に、対応する事の難しさを感じる。夜間発生を想定し、日中に訓練を行ったのも大変だったと思う。しかし、訓練を積み重ねることで、見えてくるものがあると思うので、繰り返し行う必要がある様に感じた。 ・今後も、積極的な取り組みを期待する。</p>	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	6月に実施した避難訓練の報告を受けました。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	<p>・他利用者さんの前では、人生の先輩である事を常に意識し、プライバシーや人格を尊重した対応を心掛けています。お互いの信頼関係の中での言葉掛けも、尊敬・尊重を優先したかわりを心掛けています。</p>	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	<p>・基本的に、利用者さんと一緒に、どうするか考え相談しながら、行事やイベント等検討しています。時には、どうしても業務の流れを考えながらの対応も、見られる事がありますが、その都度ご利用者さんには説明しています。</p>		
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	<p>・誕生日や月の行事、日常会話の中から出た食べたいもの等の意見を参考に、随時メニューを変更したり、食材の下ごしらえや片付けも、出来る範囲で手伝って頂きながら、「食」を楽しんでいます。</p>	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	<p>・一人ひとりの栄養バランスを考慮し、食事の摂取量・飲水量等を、必要があれば主治医とも相談しながら、調整しています。嗜好を考慮した、楽しみになる食生活が送れるように心掛けています。</p>		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	<p>・毎食後、口腔ケアの声掛けを行い、歯磨きをして頂いています。ご利用者さんによって、義歯の方は毎晩消毒し、必要があれば歯科検診も受けながら、口腔状態も確認しています。</p>	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・出来るだけ、本人の意思を尊重し、紙パンツ、布パンツや尿パットの使用についても相談しています。排便コントロールも必要があれば排便状況を主治医へ伝え、相談しながら、緩下剤や食事等(食物繊維・乳酸菌飲料等)で調整しています。		A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・最低でも 2~3 日に1回は入浴頂けるよう予定しています。その日その時の気分によって、無理強いしない様、昨日入っていても、希望される場合は入って頂いたり、一人ひとりの希望に応じて、入浴して頂いています。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・出来るだけ、日中の活動量を増やす事で、昼夜逆転が予防でき、夜間ゆっくり休めるように働き掛けしています。日中もウトウトされている時は、時間を決め、少し休んで頂く事もあります。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・服用中の内服薬は、随時医師や薬剤師と連携し、必要性や副作用等の出現について確認し、指示通り服薬ができ、効果と副作用の確認が行える様、スタッフにも周知徹底をお願いしています。		A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・家事等、一人ひとり出来る事をお願いし、終わった時にお礼の言葉を伝える事で、達成感や充実感を感じ、役割意識が持て、生活意欲の低下を予防でき、張りのある日常生活が送れるように心掛けています。	・良い(出来ている)と思います。 ・施設見学時に本を読んでいる人、絵を描いている人を見かけましたが、好きな事をして、張り合いを持つ事は大変重要だと思います。 ・野菜作りなどは難しいでしょうか？ ⇒今までも、一緒に農作業が出来る方は、一緒に作って頂いていた時期もありますが、全体的に身体的に難しく、殆ど職員の仕事になってしまっていたので現在は行っていません。 ・個人の特性に配慮した取り組みができています。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている ○ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ドライブに出掛けたり、天気の良い日には庭先でみんなで歌をうたったり、散歩しています。一人で散歩に出かけても、デイサービスや他事業所の方々にも協力を頂きながら誘導してもらったり、自分の希望で、自由に散歩できるようにしています。	・良いと思います。 ・今の状況では良く対応されていると思います。 ・コロナがあり、あまり出来ないのは仕方ないと思います。 ・お便りには、とても楽しそうな写真がたくさん掲載されています。今後も安全の確保を行ったうえで、お出かけが継続できれば良いのではと思います。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている ○ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・金銭管理については、全面的に預かり金として職員が出納に関しては管理しています。ただ、欲しい物や消耗品など、購入する際には可能な限り本人に写真や内容を伝えながら、個人に選んで頂いています。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者さんが希望する場合は自由に電話やテレビ電話も利用し会話して頂いています。手紙なども定期的に家族から届いたり、お礼の電話をしたりしています。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・常に決まった場所で過ごすのではなく、座りたい場所や、時には居室で過ごしたり、本人の居心地のいい場所で過ごして頂ける様にしています。季節の花を職員が持って来てくれ生けたり、壁面へ季節やイベントを感じる内容の作品を一緒に作る等、明るく楽しい、季節感が少しでも感じる事が出来る環境作りを心掛けています。		A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・集団生活の中にも、それぞれ自分の役割があり、盛り上げ役や意見のまとめ役、一緒に賛同し一緒に盛り上げ役がいれば、真ん中で傍観する方等、それぞれの役割が働き、集団の中で、それぞれの思いを伝える事が出来ています。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・コロナ禍で積極的に友人や知人との交流はできていませんが、同敷地内の方と、いつでも自由に交流したり、建物周囲を、自由に散歩しながら、職員や他利用者さんと交流できる様に心がけています。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・毎日バイタルチェック等の健康チェックを行い、日常の健康状態に比べ、異常が見られる場合、主治医へ報告し、指示を受け対応する事で、健康状態が安定・維持でき、安心して日常生活を送る事ができています。		A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	変化に気付き、主治医に指示を仰ぐなど、早目の対応をされていると思います。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・起床から就寝に至る日中の時間帯、利用者さんのペースに合わせ、集団生活の中でも、可能な限り皆さんの生活習慣に合わせた幅広い時間帯を取っています。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入居時、環境変化による不安を少しでも軽減する為、使い慣れた寝具や衣類、家具等も持参頂き、在宅生活の延長で、安心して生活頂けるように対応しています。		A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・希望を取りながら、庭先で日光浴したり、ドライブしたり、コロナ禍でなかなか催事には参加する事が出来ていませんが、自由に敷地内の友人と交流したり、散歩して頂いています。	・良いと思います。 ・秋祭りも行われる様なので、人込みを避けて、参加されたら良いと思います。 ・コロナ禍で、まだ参加できないのは仕方ないと思います。 ・なかなか、自宅にいても、ご近所の方等との交流は出来ない様に思う。敷地内で他事業所の方との交流も楽しいのでは？ ⇒今、事業所間で新たに感染予防に留意しながら交流イベントなども徐々に増やしていく予定にしています。 ・制限のある中で、出来る範囲で取り組んでいる。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職員と一緒に家事(洗濯干し・たたみ、ジャガイモや玉ねぎの皮むき、ごぼうのささがき等の調理、片付け、台拭きやお盆拭き)等、出来る事をして頂き、お礼を伝える事で、達成感や充実感を感じて頂けるような対応を心掛けています。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・毎日の日常会話の中にも、笑い声が絶えず、時に口論となったりする事もあるが、それぞれが共同生活の必要性を実感し、楽しく交流する事ができています。みんなで歌をうたった時のリード役、カルタの札の読み役等、それぞれの役割を自然に獲得しながら、楽しい時間が過ごせるようにしています。		A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	活動に、積極的に参加され、楽しまれている様です。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている ○ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・近隣や地域の方々とも、コロナ禍のため、なかなか交流の機会を持つことが出来ませんが、同敷地内で、馴染みの友人・知人との関係が保てるよう、自由に交流して頂いています。	・良いと思います。 ・コロナがあるので慎重に検討する必要があると思います。 ・制限のある中で、今後も取り組みをお願いします。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・現在、一番短い方でも2年近く入居されています。職員との信頼関係はもちろん、利用者さん同士も慣れ、交流に至っても、自分のペースでゆっくり過ごせていると思います。特にドライブ等、外に出かけ、帰棟時に「あ～もう帰ったね」「家に着いたね」と自宅の様な感じを受けている様子が伺えます。	・良い(出来ている)と思います。 ・6月の施設見学で、利用者さんの楽しそうな様子、また、職員さんの会話にも信頼を感じました。良い関係性が築かれていると思いました ・久しぶりに施設訪問し、利用者が笑顔で本当に“我が家によるこそ”と言った雰囲気が見えました。利用者さんは満たされていると感じ、訪問した私たちも満たされました。	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

(参考様式4)

事業所名 今治市社協グループホームゆいの里

作成日: 令和 5年 11月 20日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2・13 36・ 48	・地域とのつきあい、同業者との交流、日常的な外出支援、近隣・地域の人々との交流等が、新型コロナウイルス感染症の取り扱いが第5類へ移行した後も、なかなか出来ていない現状がある。	・感染予防対策を徹底し、住み慣れた地域で、馴染みの方々と交流したり、日常的に外出する機会を確保しながら、コロナ禍以前の生活に少しでも近づく様体制を整える。	・面会については、健康チェックを行い、お互いマスク着用で、換気の整った場所で15分以内として頂く。 ・三密を避けながら、地域行事やイベントへも積極的に参加していく。 ・健康チェック、体調管理を徹底し、異常の早期発見・対応を心掛け、感染拡大予防の徹底を行う。	12ヶ月
2	15	・入所期間が長期化した場合、今までの自宅での馴染みの生活から、施設での馴染みの生活へ変化してくると思いますが、そのような時はどのような対応をしていくのですか。	・グループホームへ入所した方が、グループホームでの生活が長くなると、ホーム内での生活に馴染みの物や関係が出来ます。そういった心地良く感じる環境を維持・継続する事で、新たな馴染みの生活を感じ、送る事が出来るよう対応する。	・利用者さん同士や、職員との関係を円滑に対応できる様、個々の情報の共有や対応の方法の統一化を行う。 ・急な環境変化(人的・物的)を少なくし、居心地の良い空間(利用者さん同士の日常の共有スペース)作りを行う。	6ヶ月
3	35	・役割や楽しみについて、なかなか外出等の機会も少なく、施設内での楽しみについて、一人一人の楽しみや得手・不得手を確認しながら、達成感や充実感を感じて頂きながら取り組む作業等も、個別に合ったものの選定・確認が必要。	・一人一人の出来る事、声掛けしながら出来る事、出来ない事等を把握し、個々で会った作業や手芸等をお願いし、出来た事による達成感や充実感を感じ、生活に対する意欲や楽しみが持続できる様な働きかけが必要。	・一人一人の出来る事、出来にくくなった事を把握し、出来ない事より、出来る事を中心に、家事の手伝いや手芸等に取り組んで頂きながら、出来た事による達成感や、お礼の言葉を伝える事で満たされる充実感等も感じて頂ける様に対応していく。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。